

物事の善悪を理解させるには？



こんなことはありませんか・・・？

たろうくんが今一番夢中になっているのは、カードゲーム。今日も、保育所から帰ってくるとすぐに、集めたカードゲームをながめています。

するとそこに、近所のかずおくんが遊びにきました。どうやら、カードゲームで遊ぶ約束をしていたようです。

二人は仲良く遊びだしました。

外が薄暗くなり始めたので、かずおくんは、「もうおうちに帰る。」と言ってカードを片付け始めました。と、その時「ない。ぼくの一番大事なカードがない。」と泣き出しました。たろうくんのカードの中に混ざっていないか、たろうくんのお母さんは、カードを全部見せましたが、ありません。

お迎えにきたかずおくんのお母さんに事情を話して、二人は帰っていきました。

そのあと、お風呂に入ったたろうくんの、脱ぎっぱなしのズボンのポケットに、カードが一枚入っているのを見つけて、しまいました・・・。



ワーク1

このあと、お母さんは、かずおくんのカードをポケットに入れてしまったたろうくんにどんな話をして、どんなふうに対応するでしょうか。たろうくん役とお母さん役でロールプレイ（役割演技）してみましょう。

ワーク2

ワーク1でみなさんが話し合ったことをもとに、たろうくんに、どのような「声かけ」をするか考えてみましょう。

アイ (I)メッセージで伝えよう

大事なことは、子どもが自分のことを冷静に客観的に振り返ることです。そのためには、「あなた (YOU)」を主語にして責めたり、命令するのではなく、「わたし (I)」を主語にして語りかけることが有効だと言われています。

① まずは、事実の確認をする。

あなたは、かずおくんが大事にしているカードを・・・

② 私の思いを具体的に伝える。

お母さん (私) は・・・

③ 子どもに問いかけて、気持ちを聞く。

あなたは、どう思う？

④ 最後は、子どもの思いを認め励まして終える。

お母さん (私) もそう思うわ・・・

ワーク3

これまで経験されたできごと（けがをさせた、させられたなど）から、うまくいった対応、失敗したと思われた対応について、書き出してみましょう。（ほかの方の対応でもいいですよ）

できごと	対応

◇他の方の意見をメモしましょう！

 いいね！

 いいね！



「善悪の判断」は、人によって価値観が違うので、判断することが難しいこともあるわなあ。でも、小さい子なりに、何が良くて、何が良くないのかを考えるようになってほしいもんじや。そのためには、感情的に一方向的に叱るのではなく、「なぜ良いことなのか」「どうして良くないことなのか」を考えさせること、そして、子どもへの伝え方が大事じゃな。

してはならないことが あるよ

